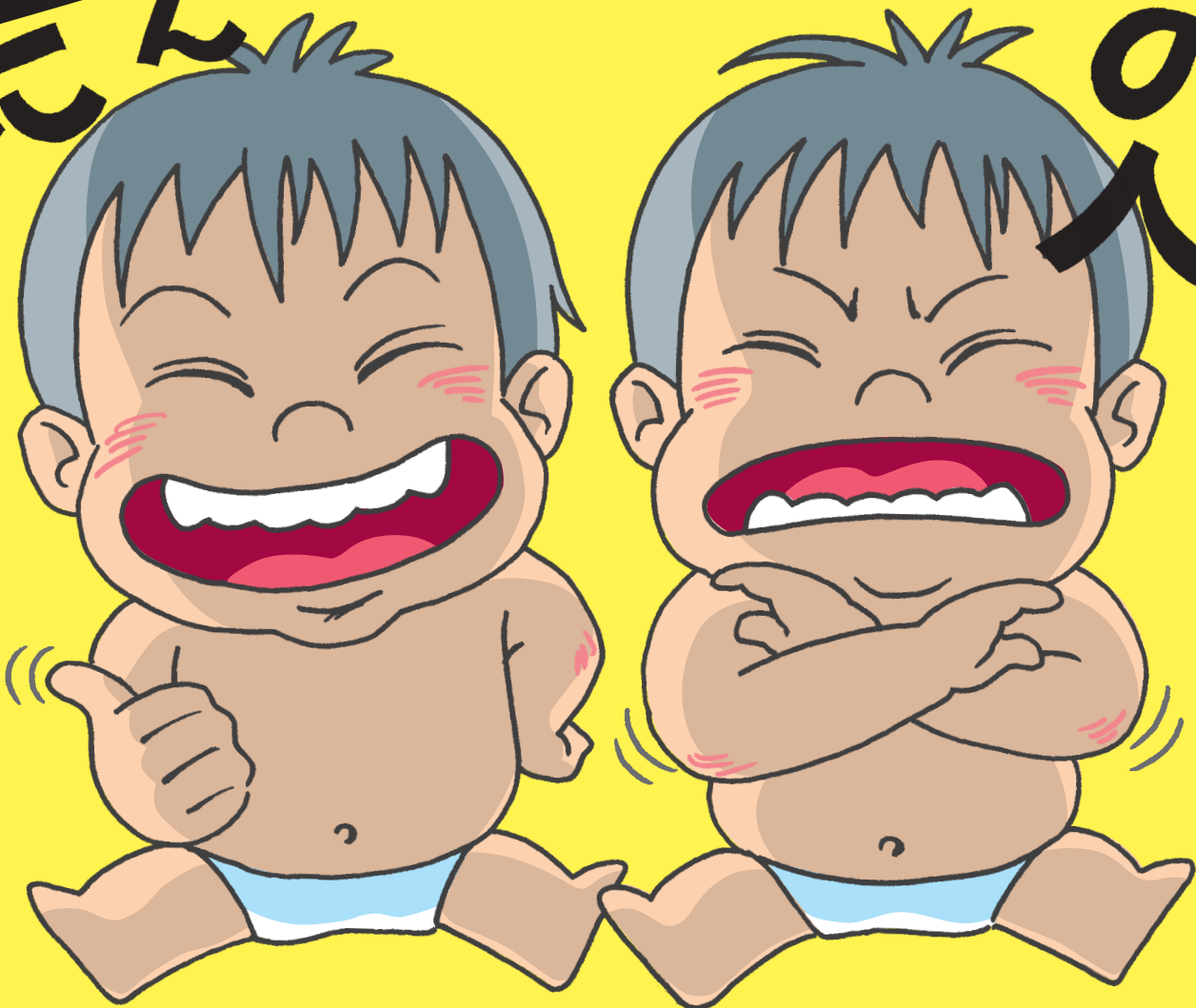


投票に行かなくても大丈夫！

ちよつとこの人の反対



警告!めっちゃ危ない「都構想」

大阪市廃止・分割

「都構想」の細かいことなんて、誰もよう知らん。しかも、いったん決まったら、元にはもう戻らん。これがアカンかったら、一番困るんは、子や孫。こんな危ないもん、反対しとがんと、どうなつても知らんでえ!

(※共同通信の世論調査によれば、住民投票に、「賛成」派はほとんど「行くけど」、「反対」派は「行かへん」とが多い。だから、反対やつたら、絶対、投票、行かへアカン!)

投票日は5月17日(日)。

4月28日から区役所で期日前

投票ができます。

棄権せず、必ず投票しましょう!

投票用紙には

「反対」と書いて

ください。



大阪市廃止・分割

めっちゃ危ない「都構想」 「反対」しとかな、ほんまに「ヤバい」!

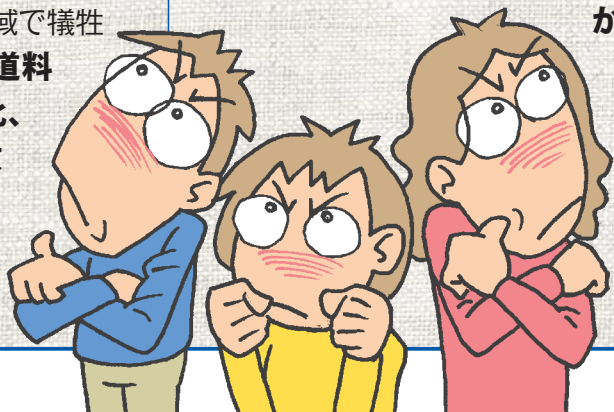
皆さんの税金が年間「2200億円」奪われます。

「都構想」が実現すれば、**2200億円もの「みなさんの税金」が毎年「府」に吸い上げられます。**これまでみなさん（大阪市民）で自由に使っていたお金です。その多くは「**大阪府の借金返済**」に流用されます。借金は6.4兆円にまで膨らんでいるのです。それだけではありません。大阪市域以外の道路・下水道などの整備にも使われる他、**大阪市の解体分割でかかる無駄な経費（初期費600億円、毎年20億円）**にも使われます。そのため金欠病となった現大阪市域で犠牲になるのが、住民サービスです。**水道料金の値上げ、家庭ごみ収集の有料化、保育料・保険料の値上げ、地下鉄の敬老優待パスの廃止等…、**は避けられないでしょう。

「都心」(キタやミナミ)がさびれて、大阪が「ダメ」になります。

「都構想」が実現すれば「市役所」が解体され、分割されます。結果、行政は間違いなく大混乱。「**組織改編**」のためにとんでもない時間と労力を取られ、**前向きなプロジェクトが何年もできなくなります。**その上、「市の解体」を通して、大阪は確実に「**まちづくりの力**」を失います。結果、大阪都心は衰退し、核をなくした大阪全体がどんどん「ダメ」になっていきます。今の子供たちが大人になっている頃、「**あの頃の大阪はよかったです**」

と言われるくらいに、「**本格的にダメ**」な街になっていくのです。



「二重行政・解消」の効果なんて、実際、ほとんどありません。

「これが都構想の全てと言っても過言ありません」。昨年、現大阪市長がおっしゃっていた「二重行政」解消効果。**当初、それは年間「4000億円」とも主張されてきました。**しかし、具体的な議論と計算を通して、**年々その額は減り続け、**大阪市役所が自ら行った推計によると、今や「**年間1億円**」程度ということが明らかにされています（注）。つまり、「二重行政・解消」は最初に言われていた額に比べれば、**ほとんど無いということが明らか**になっているのです。わずか1億円のために、わざわざ大阪市を廃止し、600億円もの初期費用と毎年20億円ものコストを払い、2200億円もの財源が毎年「流用」されて大阪の街が「ダメ」になるような「都構想」に賛成する必要など、どこにもありません。

（注）『都構想協定書巡り対決 大阪市議会、公明・自民と橋下市長』2014/10/23付け日本経済新聞
参考図書 『大阪都構想が日本を破壊する』（文春新書）著：藤井聡教授（京都大学）、『いま一度考えたい 大阪市の廃止・分割』（公人の友社）大阪の自治を考える研究会・編著、『大阪市解体それでいいのですか？—大阪都構想 批判と対案—』（自治体研究社）著：富田宏治教授（関西大学）・森裕之教授（立命館大学）・梶哲也教授（大阪学院大学）・中山徹教授（奈良女子大学）他

府民のちから 2015
Roundtable to Osaka tomorrow

- 発行. 府民のちから 2015事務局
〒530-0047 大阪市北区西天満2-3-1和泉ビル3F
- TEL.06-6362-6677
- FAX.06-6362-6601
- E-mail. info@fumin-chikara.jp

府民のちから 検索